

学校の教育目標	『自ら育つ』 一、ものごとを正しく深く考え想像力の富んだ人になる(学習) 一、健康なからだで豊かな心情の人になる(心身) 一、思いやりの心をもち進んで協力する人になる(協調)
----------------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1国際理解、情報、環境、福祉など生徒の興味関心を踏まえつつ、自ら学び、自ら考える力を育成 2「自分の考えを持ち、それを的確に表現できる生徒」の育成を目指す。 3互いに学び合い、認め合う心を培い、意欲をもって主体的・探究的に取り組む姿勢を育成する。 4職業や自己の将来にかかわる課題から自己の生き方を考えることに結び付けさせる。

育てようとする資質や能力及び態度		
知識・技能		
第1学年	第2学年	第3学年
互いの個性を尊重し、良さを認め互いの関わりの中で良さを生かし意欲的に取り組む態度を育てる。	職業を実際に体験し、社会人としてのマナーや態度を学ぶ。	日本と世界の伝統・文化に触れ、その特徴と多様性を知り、主体的に取り組む姿勢を培う。
思考・判断・表現		
第1学年	第2学年	第3学年
互いの意見を尊重し様々な場面に応じて適切に表現する。	様々な職業に興味・関心を持ち自己の生き方について考える。	必要な情報を収集し、目的に応じた手段を考え、課題を解決する。
主体的に学習に取り組む態度		
第1学年	第2学年	第3学年
異なる意見や他者の考えを尊重し、協力して課題を解決する。	学習や生活のあり方を見直し、日常的に実践する。	自らの将来を具体的に考え、的確な進路選択ができるようにする。
内容	学習対象	学習事項
第1学年	・職業について考え、仕事を通じた生きがい学ぶ。 ・生命の尊さについて学ぶ。	・地域の歴史・環境を調べ、まとめて発表する。 ・職業調べをやり、「生きがい」を知る。 ・生命の尊さを知り、救命の技術を学ぶ。
第2学年	・林間学校で文化や環境について学ぶ。 ・チャレンジ・ザ・ドリームから働くことの意義や社会貢献について学ぶ。	・相互理解を図り、主体的に体験に取り組む。 ・社会人としてのマナーや態度を学び、社会貢献について考える。
第3学年	・日本の古都、京都・奈良を調査する。 ・自分の生き方を考える。	・京都・奈良の歴史・文化に関して具体的な興味・関心を持ち、参観する。 ・筋道を立てて、進路選択に取り組む。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・1年生 情報・職業調べ ・2年生 環境・職業体験 ・3年生 伝統文化理解・進路を主なテーマとする。	・グループ学習を行い、班ごとに課題をまとめる。 ・校内展示や発表を行う。	・活動内容に応じて、学級単位・学年単位・グループ単位で行い、教員によるチームティーチングを行う。	・事前・事後学習から活動への意欲・関心・態度、調べ方・まとめ方の工夫を把握する。